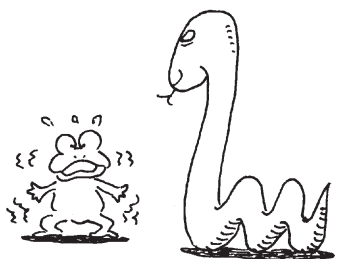




蛇ににらまれた蛙

言葉の意味

とても勝ち目のない相手に狙いを定められて、恐ろしさのために身がすくんで動けないことのとえです。「蛇に見込まれた蛙」とも言います。



蛙にとつて蛇は恐ろしい存在であるように、人間も蛇を圧倒的な力を持つ神聖な動物と考えて、神様としてまつていたりしますね。

こんなふうに使つよ

まるで蛇ににらまれた蛙のようね

蛇ににらまれた蛙の心境だよ

習二君の蛇ににらまれた蛙

蛙山

西に蛇の里

紙相撲

蛇ににらまれた蛙で勝ち目なさそうだね

いややってみたいとわからないさ

ハッキョイノコッタ

あゝ

蛇の里意外に弱かったね

蛇なので手も足も出なかったみたい

残念

押し出して蛙山の勝ち!



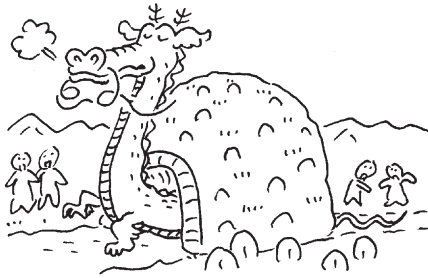
しゅうじ君の ことわざ。

竜頭蛇尾

(りゅうとうだび)

言葉の意味

頭は竜のように力強く立派なのに、尾は蛇のように細くて頼りなく、前と後とのつりあいがとれていないことを表します。



初めは勢いがよいが、終わりのほうになると元気がなくなる意味にも使うね。最初のパワーをしっかり維持して、最後まで頑張ろう！

こんなふうに使つよ

竜頭蛇尾にならないよう最後の一字まで気を抜かず！



習二君の
竜頭蛇尾

今日から公園でジョギングしようか

いいね

よし！毎日公園のまわりを5周がんばろう

2日目

5周は長くない？

4周でいいね



まったく二人とも竜頭蛇尾なんだから



明日から増やすことにして

今日は2周

4日目



今日は寒いし

3周にしようか



蛇のしっぽのようにな

竜頭蛇尾もまたよし

めげない二人ね



竜頭蛇尾と言われても細く長く続けることが大事だよ

だよ